

実践型の大規模総合防災訓練

大田原協組も参加、上下水道局幹部ら視察

宇都宮市管工事業協組

宇都宮市管工事業協同組合(和田均理事長)は26日、下河原水再生センター北側敷地で総合防災訓練を開催した。組合員や応援の大田原管工事業協同組合員が地震被害を想定した配水管の応急復旧、応急給水を実施。市上下水道局と締結している災害時の応急対策業務協力協定に基づく初の実践型の大規模訓練。局幹部職員や東京都の三多摩管工事業協同組合員ら多くの来賓が訓練を視察した。

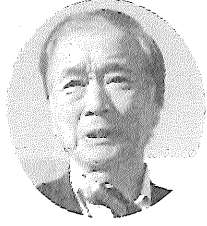
応急復旧・給水を迅速



和田理事長



塚田管理者



鎌倉議員

訓練は近い将来に発生が予想されている首都圏直下型地震に備えるもの。市内で東日本大震災規模の震度6強の地震が発生し、水道施設に大きな被害が生じている想定で総勢約200人が参加した。

開始にあたり、和田理事長は「市民の安全安心な暮らしを支えるライフラインを確保するため、緊張感を持って取り組んでほしい」と訓示。



破損した配水管を迅速に復旧した

メッセージを伝え、顧問の鎌倉三郎市議会議員も「命

の次に大切な水をつつがな
く市民や県民に供給できる
態勢構築を」と訓練の成果
に期待した。

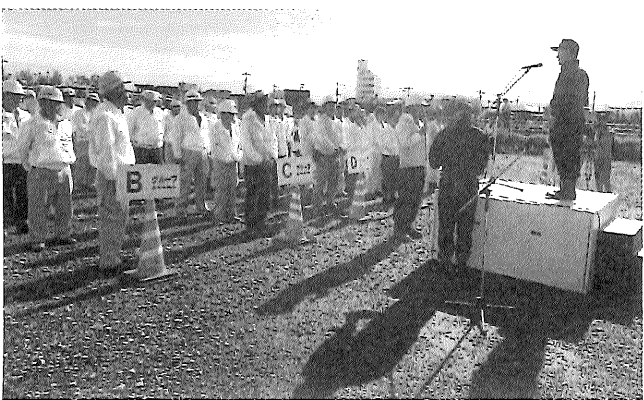
訓練は和田理事長が災害
対策本部長を務め、中村勝

災害対策検討委員長らの号令で約90人の組合員が参集。応急復旧は会場に敷設した配水管を使って漏水復旧、仮設給水栓設置、液体窒素による凍結工法、不断水バルブ工法の4つの訓練を実施。青年部会員や大田原管工事業協同組合員が3〜4班に分かれ、それぞれ作業を手際良く短時間で完了させた。

応急給水訓練はトラックに搭載した容量2トンの災害用給水タンクを使用し、見学者の応急給水袋に給水した。防災コーナーでは清水合金、前澤化成工業、サンエス護謨工業による災害関係商品の展示も行われた。終了後、和田理事長は「すべてに迅速、的確に対応できた」と訓練を総括。引き続き大規模災害の発生に備えた災害対策の取り組みを、市をはじめ関係者の理解を得ながら強化していく決意を表明した。

塚田上下水道事業管理者は「昼夜を問わず、市民生活に欠かせないライフラインを守る皆さんの卓越した技能を拝見し、大変心強い」と講評。組合との連携を深め、災害に強い安全安心な都市基盤整備に取り組み考えを示した。

組合では頻発している自然災害から市民の安全安心な暮らしを守るため、独自の行動マニュアルを策定するなど災害時にライフラインを確保する取り組みを進めており、昨年4月に災害用給水タンクと保管庫を平出工業団地の組合駐車場に整備。昨年7月に参集訓練、10月に応急復旧訓練を実施した。



中村委員長の号令による参集訓練(上)と応急復旧訓練(下)

